

Constellation of stars news

「煌星」

きらぼし／ほしのきらめき

MORISEA SAID

「やる人がいないなら自分がやろう」

振り返ってみると、私の体育祭の思い出と言えどとにかく声出しや集団行動といった練習に励んでいたことしか思い出せません。学校行事の一環としてただただ参加していただけの体育祭でしたが高3の体育祭は違いました。最後の体育祭ということもあり、3年生の役割がかなり大きく、縦割りの色分けでブロック(チーム)が決まり、ブロック長、副ブロック長、応援団長、チアリーダーなどすべて3年生が中心となり進めていきます。華やかな役割はあっという間に決まってしまうのですが、1つだけ残って決まらなかった役割がありました。「縫子(ぬいこ)長」です。何それ?と思われるかもしれませんが高校の伝統で応援団とチアの衣装は自分たちで作る、という仕事がありました。その縫子さんたちをまとめる「長」です。縫子長だけ決まらず、話し合いは持ち越しとなりました。これは毎年見ていて大変な仕事だと分かっていたので誰もやりたいとは言わないだろう、というのは一目瞭然でした。決してやる気があったわけではありませんがこのまま誰もやらないのであればデザインするの楽しそうだしやってみようかなくらいの気持ちで放課後担任に相談したところ、両手を強く握られ「本当にありがとう!!」と言われました。(あ、女性の先生です・・・)目立たず陰キャだった私が突然立候補したみたいになって担任と固く握手しているのを見て周りもびっくりしていましたが、一役買って出た形となりました。決まってからは大忙しでした。夏休みに母の友達で洋裁が得意な方にミシンの使い方、型の作り方など、必要なことを教えていただき、一緒に手伝うと協力してくれた友達と洋裁店に材料を買いに行き、団とチアの衣装を縫ってくれる生徒を募集し、作り方の説明と材料配布、できあがった衣装をチェック、雑なところの縫い直し、などなど。たくさんの工程を経て何とか全員の衣装が完成しました。衣装合わせの時にサプライズで団とチアの生徒たちが全員集まって一言ずつお礼を言うことができました。みんな感動して泣いていたのですが縫子長の私は達成感の方が大きく、やりきったすがすがしさでいっぱい泣くモードにはなれませんでした。後でみんな感動して泣いていたのに長の私だけ泣かなかったことをつかれましたが「やりきって自分の中では後悔がないから」と思っていました。多分、自分が泣くときはやりきれなくて悔しいと感じたときだ、と気づいた瞬間でもありました。そんなこんなで高3の体育祭は高校生活の中で初めて主体的になった行事でした。「やる人がいないなら自分がやろう」のマインドは大人になった今でも持ち続けています。

今年度も星槎中学の体育祭は笑いあり、感動ありの温かいムードの中、無事終了しました。競い合うことが中心ではなく、スポーツを通して一人ひとりが活躍できるシーンがあるのが星槎中体育祭の醍醐味だと思っています。毎年アカデミーも参加させてもらっていますが、この日のために遅くまで準備をして、当日は黒子となり動いている先生方の姿にも感動します。アカデミー生が撮影した写真は動画にして中学にプレゼントしたいと思います。みなさんお疲れさまでした!

月間スケジュール (9/21～11/8)

日	月	火	水	木	金	土
10/19 日本LD学会	20 煌星 32 号発行	21 ● 新月	22 校外学習② 猿島ツアー	23	24 漢検③	25
26	27	28	29	30 ● 上弦	31 ハロウィン 仮装大会	11/1 鴨居文化祭
2 鴨居文化祭	3	4	5 ● 満月	6	7	8

満月



学校法人星槎

SEISAアカデミー

		<SAAB 準備				
9	10	11	12 下弦	13	14 午前日課	15 -SAAB>
16 アカデミーは休み	17 振替休日	18	19 特別授業「理科」	20 新月	21	22 体験講座(AM) 説明会(PM)
23	24 煌星 33 号発行	25	26 校外学習③	27	28 上弦	29 保護者会④
30	12/1	2	3 特別授業「ART」	4	5 満月	6
4 日間体験入学						
サイパン海外英語研修						

【リマインド & お知らせ】

- 10月22日(水)校外学習「猿島ツアー」リベンジ編を予定しています。フェリーが運休となった場合はこの日は通常授業になります。
- 10月31日(金)ハロウィン仮装大会～毎年恒例自由な仮装を楽しもう。スタッフも全力で仮装します!!!
- 10月29日(水)柿沼先生の理科実験「作用・反作用・慣性の法則～力のはたらきについて色々なものを用いて実験します～」
- 11月1日(土)、11月2日(日)は星槎国際高等学校横浜鴨居学習センターの文化祭「流星祭」が実施されます。アカデミーの高校生3名が在籍しておりますので11月1日(土)の方でアカデミーブースを出す予定です。(作品展示など)ご興味のある方はぜひ見学してください。

【詳細はこちらから↓】

<https://seisa.ed.jp/event/event-53293/>

- SAAB 準備期間は「基礎学習」や「マイプロジェクト」の時間を用いて SAAB 準備をしていきます。特別時間割になる日もありますので11月に入りましたらお知らせします。14日(金)は午前で終了です。

- 11月15日(土)、星槎グループあげての「SAAB」が実施されます。初めての方もいらっしゃるので SAAB がどんなイベントなのか知っていただくためにリンクを添付いたします。ご確認ください。

【SEISA Africa Asia Bridge】<https://seisasaab.com/about/>

- 11月16日(日)は星槎中学・高校の生徒は SAAB 事後学習で登校日となっておりますがアカデミーはお休みとします。17日(月)は全体の動きに合わせて振替休日となります。

- 11月22日(土)の土曜体験講座〈10:00～12:00〉ですが、小美濃先生に講師として来ていただけることになりました。アカデミー生の特別授業(外部参加もあり)としますのでぜひ保護者もご参加ください。

- 11月30日(日)～12月5日(金)まで中2生はサイパン海外英語研修に参加します。

ちょっと先のお知らせ

- 12月10日(水)特別授業「調理」～飲茶セットを作ろう～※高校生は家庭科のスクーリングになりますので必ず参加してください。

- 12月11日(木)3期生「みかん狩り」

- 12月16日(火)藤堂高直さんがアカデミーに帰ってくる!! 特別授業「漫画史とデザイン」
茶の湯に引き続きワークショップ第2弾。今回の内容も面白いです。お楽しみに。

●12月22日(月)～1月7日(水)冬休み 登校開始は1月8日(木)からです。年間行事予定から変更になっています。

特集: It's my own.

「アカデミーのスタッフになった経緯と今のあなたを支えている一冊」
人に歴史ありです。生まれた瞬間にアカデミースタッフになったわけではありません。スタッフのアカデミーに参加することになった経緯と、あなたを支えてきた一冊を紹介してください。

しーちゃん	こどもと接する仕事に就きたいという漠然とした思いを抱えながら、大学 4 年生の 2 月末に就活を始めました。結果は想像通り上手くいかず、その悩みを同じ大学の先輩かねごんに打ち明けた所、SEISA アカデミーを紹介していただき、今に至ります。	「ヤンキーと地元」打越正行(2019)沖縄のヤンキーや暴走族と生活を共にしてインタビューしたエスノグラフィー
しげP	「仕事は出会いと未来を内包している」 アカデミーのスタッフになった経緯は『その仕事を割り振られたから』です。もとより、私は教員になりたくて星槎グループに来たわけではありません。ただ、この仕事を『続けている理由』は別にあるかもしれません。	「嫌われる勇氣」岸見一郎・古賀史健(2013) 決して「自分本位・自己中心的」を勧める本ではないですよ。
Skipper	Of course, I did not know, when I was born, I was going to be a Seisa Academy Member. Just as the Seisa logo points to a star my life been directed toward that Seisa star. On meeting Mr. Miyazawa in 2019 I knew I found a home in Seisa, the Foundation for Global Children and Seisa Academy. We shared views on education and my contribution to Seisa. Mr. Miyazawa talked a lot about the purpose, philosophy and students of the Academy. I feel very fortunate to have had him share his vision with me. His book is my guide.	"I Shall Go Wherever I'm Needed- And I Shall Do Whatever Needs to be Done." Miyazawa Yasuo (2018)
りゅーちゃん	もっと学校を楽しくしたい、自由に色々なことをやってみたいと思っていたときに新しい学校をつくってみたいかと声をかけられたのがきっかけです。もっともっと楽しいと思える学校にしていきたいです！	「名言セラピー」ひすいこうたろう(2005)
かねごん	僕がスタッフになった経緯は、一言で言うと「縁」です。大学を卒業してから教員免許を取るためにフリーターと学生の中間のような状態でフラフラしている所に、声をかけてもらいました。支えてる一冊は、色々なモノに直ぐに影響されるので、コレッ！と言うような一冊は言えないのですが⇒	一番大変な時期に読んでいたのはこれです。 「金色のガッシュ!!」雷句誠(2008)
あいちゃん	何か面白そうなことや新しいことを誰かと作ってみたい・やってみたいという気持ちがあったので、アカデミースタッフになりました。心に残っている本は「O・ヘンリ短編集」です。今回はどんな結末が待っているのだろう・・・とワクワクしながら読み進められます！私の好きな物語は「賢者の贈り物」です。	「O・ヘンリ短編集」O・ヘンリ(1969)新潮文庫 本を読んで気に入った物語があれば教えてください！
よっしー	SEISA アカデミーが始まったからです。 SEISA アカデミーを作れるからです。 【縁】と【タイミング】と【勢い】です。	「不夜城」馳星周(1996)
マリオ	「長いこと楽しく過ごすには出会いが必要」 色々なものを創ってきました。いろいろな人に出会ってきました。恐ろしいほど困難な場面もありました。避けた方が楽だったに違いありませんが、真っ向勝負したのでとてつもなく楽しかった出会いが今も続いてアカデミーにいます。	「生物と無生物の間」福岡伸一(2007)普通だ、当たり前だと思っはいけないという、当り前のことを実感した一冊。

もりしー	星槎福岡で小学生向けのフリースクールをやりたいと企画書を提出していたところ蓮田さんに SEISA アカデミーをやらないかと声をかけてもらい、転勤してきました。・・・この一冊には、私の心の師匠、お笑い芸人「永野」の著書を選びました。	自分を支えている本はその時々で変わるので1冊に絞るのは難しいですが今は「オルタナティブ」永野(2023)
------	---	--

VIEW 投稿作品「秋になりたくて」

秋になりたくて

風に乗ってひらひら舞ってる枯葉だとか、誰にも使われず佇んでる電話ボックスとか、きっと秋ってそんなもの。

花があって、星があって、月がきれいに思うのはきっとそれが満月だから。雑踏は曇天で、振り返ったら川があった。緑と銀と青の混ざった、いい匂いがする。思わず見上げた空は夕焼けで。ああしまった、色が増えた。極彩色の世界は騒擾で、立っているのもできなくなった。

鳴り続ける世界の中で、舞い続ける葉と踊っていたかった。佇む電話ボックスの隣に居たかった。そうすればきっと、秋になれたから。写真を撮った次の日にはしまい込んで、そのまま忘れてしまいたい。そのほうが、大事にできてる気がしたから。そうして全部しまい込んで、空《から》の両の手が残った。なんだか急く様に足を動かして、また秋を探しに行った。

二〇二五年 九月 十四日

YOSSY's ROOM

【煌星】の原稿の提出がいつも締め切りギリギリになってしまいます。書きたいことがいくつかあって迷う時と、単についつい先延ばしになってしまう時があります。今回はその中間というところでしょうか、迷いながら行事の終了を待ちました。

10月12日(日)星槎高校グラウンドで星槎中学校の体育祭が行われました。アカデミーのみんなも参加し、天気が心配でしたが無事終了しました。結果から言うともものすごく感動し楽しい体育祭だったです。準備の段階から先生方の思いも見えていますし、何しろ参加している生徒が一生懸命でとても楽しんでいました。新しい種目ですかね、部活対抗のリレー（部活動の紹介をしながら）などはとても考えられていて面白かったです。来年はアカデミーからも参加する種目を増やしていけるよう頑張っていきたいです。

それと最近、週に何度か【日の出】の時間に外を歩くことがあります。天気の良い日は「やっぱり、朝日はいいなあ。」と思います。明けの明星ですかね、東の空に見える金星や薄くなる月がきれいだな、と思います。若かったころと少し観点や感覚なども変わってきているのかもしれない。そんな時、少し前（だいぶ前ですかね）に流行った【二人のアカボシ】（キンモクセイ）という曲が頭に浮かんできます。景色だとか時には匂いだとかで出てくる音楽も変わったりして、不思議ですよね。だからそんな時はヘッドフォンはせずに鼻歌交じりで歩きます。

あいちゃんだより

先日 しばらく会っていなかった友人からメッセージをもらい、久しぶりに会うことができました。その人は大学受験に失敗して浪人していたときに予備校で 1 年一緒になった人で、今回その人が個展を開くということで作品を観るついでに会ってみようということになりました。浪人していた期間というのはお互いにとってあんまり楽しいと言える期間ではなかったと思いますし、たった 1 年一緒に予備校で過ごただけで、その後お互い別々の大学に進学して卒業後も 6 年以上経ってしまっています。大学の友人や職場の人などたくさんの知り合いがいるのだと思うのですが、わざわざ私にメッセージをくれて時間を割いてくれたことに嬉しい気持ちとともに驚きました。

お互いの大学での生活や卒業後の仕事のこと、家族のことなどいろいろと話したいことがあり、積りに積もった話を一気にしようと意気込んでギャラリーに向かったのですが、いざ会ってみるとお互いモジモジしながら、とぎれとぎれの会話で近況を探り合っているような感じになってしまいました。話しているうちに当時も活発にやり取りするというよりは、ボソボソとお互い思いついたことを話して時々リアクションをするようなコミュニケーションだったことを思い出しました。そういった面は良くも悪くもその人と私は当時と変わらないままみたいです。浪人はあんまり楽しいとはいえない期間でしたが、その人には大変お世話になったと思っています。今度その人だけでなく予備校にいた他のメンバーも集めて会うことになりました。次会うときはしっかりと今の近況と当時お世話になったことの感謝をしっかりと伝えてこようと思います！皆さんは久しぶりに会ってみたい、話してみたいと思う人はいますか？遠慮せずに思い切って話しかけたり、メッセージを送ってみると意外とうまくいくかもしれません。

今月のクイズ

右にあるパーツを
全て組み合わせろ。
答えは二字熟語。

二 言 子 子
五 ウ 口 口
六 丸 、 、

今月のクイズはこれです。解答を、いつも通り academy@seisa.ed.jp まで送信してくださいね。

【前回の解答です】

前回の問題はいわゆる「覆面算」でした。SEND+MORE=MONKEY の時 256 は という問題です。

登場するアルファベットを 0~9 の数字に換算します。すると、S=9 E=5 N=6 D=7 M=1 0=0 R=8 Y=2 と導き出されます。9567+1085=10652 になりますね。すると解答は「256=YEN」ですね。

編集後記

物事とは突然やって来るものですね。夏から秋への流れもそうですね。確かに、6月の夏至、9月の秋分ときましたが、この間まで暑くて困ったという状況が、一気に暦に追いつきだした感じです。なんとも実感はずれずれで急激に変化する感じで、再来月には冬至がやってくるというのなんかそわそわしてしまいます。季節ネタで続けると、今年は台風が発生する時期が実に遅くニュースになりました。1号発生は6月11日でした。1月から5月まで台風が発生しなかったのは、1952, 1973, 1983, 1984, 1998, 2016年だけです。観測史上珍しい台風がない1年の始まりだったのですが、その後は増えていき、7月7個（平年3.7）、8月5個（平年5.5）、9月6個（平年5.0）、10月すでに4個（平年3.8）と帳尻を合わせるかのようになり、先日の22・23号では知り合いの住む八丈島でも多くの被害が出ています。自然繋がりで続けると、今年はクマ出没の話がたくさん報道されています。ツキノワグマの出没統計を取り始めたのが平成21(2009)年ですので、それまでは日常生活には程遠い特別のことという認識だったと思われます。いずれは街中にも出没するようになるであろうと見えていたのでしょうか。しっかり見ている人には予想通りということなののでしょうか。冬眠前の今の時期は特に多いようです。人にとってもク

マにとっても生きづらい世の中ということでしょうか。

閑話休題。今号の特集は「アカデミーのスタッフになった経緯と今のあなたを支えている一冊」でした。おそらくスタッフの長〜い長〜いストーリーを 120 文字程度にまとめていますのでもう少し聞きたいと感じるかと思います。また、書籍もそれに関わるものになっていると思われますので、疑問があったらぜひ本人に聞いてみてください。疑問や興味を持つことと対話し思考することはとても重要な社会的生物としての人間の本能でもあります。そしてその行動の過程がとても重要なのです。加えてあなたが本を読むことそのものもまさに時空を超えて対話し思考することといえましょう。読書の秋です。週に一冊ぐらいは読みたいものですね。(YM)